平成24年3月1日
3月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想 …… 1
岡崎市保健所　所長
犬塚　君雄氏
この人に聞く …… 2
パワーリフティングマスターズⅠ
105キロ級日本記録保持者
福田　康宏氏
羅針盤 …… 2
六ツ美西部小校長
小倉　敏幸
ふれあい …… 3
甲山中学校　杉山　有紀
特　集 …… 4
１年のあゆみ
お知らせ …… 8
フォト・ヒストリー … 10
全校歯磨き集会
この本を …… 10

教育随想

健康教育について

岡崎市保健所
所長　**犬塚　君雄　氏**

公衆衛生活動の基本的な方策の一つとして、健康教育は、個人や集団あるいは地域住民が直面している健康問題を解決するために必要な知識を獲得し、自ら積極的に取り組むことができるように援助することと定義されています。

従前は知識普及が主体であり、時には「ほかっておくととんでもないことになりますよ」と脅迫まがいな言葉による健診の受診勧奨などに利用されてきました。健康教育の目的はＱＯＬ（クオリティ・オブ・ライフ）の向上を目指すものであります。そのためには行動変容が求められますが、知識だけでは行動変容には繋（つな）がりません。そこで、主要な疾病が感染症から生活習慣病となるにつれ、どのように支援すれば望ましい行動に踏み出せるかが議論されてきました。

一人一人の行動変容を支えるものとして、家族や同僚など、周囲のサポートは欠かせません。自らできるという気持ちにさせ自信をもたせるエンパワメントが必要であると同時に、一人一人が取り組みやすい環境を整えることも重要です。例えば、健康づくりを目的にウォーキングをしている人が多くいますが、安全で快適に歩けるコース整備などは公共的な施策として取り組まれるべきものであり、「健康なまちづくり」を政策の柱とする必要があります。こうした考え方をＷＨＯはヘルスプロモーションとしてまとめ、具体的な方法として①健康的な公共政策づくり、②健康を支援する環境づくり、③地域活動の強化、④個人技術の開発、⑤ヘルスサービスの方向転換を提唱しています。

我々もヘルスプロモーションを公衆衛生活動の基本理念とし、このなかに健康教育を位置づけ、生涯にわたる健康づくりを推進してまいります。教育関係者のみならず多くの皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

（いぬづか　きみお）

この人に聞く

続ければ届く

パワーリフティングマスターズⅠ
一〇五キロ級日本記録保持者
福田　康宏　氏

コンテナを改造して作った八畳ほどのジム。その片隅で、「威圧感を与えてしまうから」と、鍛え上げられた体を小さく丸めて話す福田さん。

「子供のころは、いじめられっ子でした。身体を鍛え、大きな身体になったらいじめられないと思い、筋トレを始めました。」

高校生のとき、週六日岡崎市体育館に通い筋力トレーニングに励んだ。

「最初は、ベンチプレスで四十キロも上げられない状態でした。悔しかったですね。でも続けていたら、やればやるほど記録が伸びて、それが楽しくてのめりこんでいきました。」

昨年四月「埼玉県パワーリフティング選手権大会マスターズⅠ（四十歳代）男子一〇五キロ級ベンチプレス」で、一七二・五キロの日本新記録を樹立した。二〇〇六年には、アジアベンチプレス選手権大会で金メダリストになっている。

「アジア大会に出ることができてうれしかったですよ。二十年かかりましたけれどね。続けていれば、どんな目標にも届くのですね。」

重いバーベルは、雑念があっては上げられない。そこで、集中力をつける訓練にも取り組んだ。静かな山に出かけ、深呼吸して気持ちを落ち着かせることから始め、にぎやかなスーパーマーケットや駅などでも集中できるように訓練した。

「今では、深呼吸をするだけで、周りの音を消すことができます。まるで、氷に閉ざされたような感覚になるのです。そういう状態になれないと力は出ません。これができるようになるまで、五年かかりましたよ。」

自身のトレーニングの傍ら、三年前に、「ちからこぶＧＹＭ」というパワーリフティングジムを開設した。

「筋トレ、パワーリフティングがぼくの人生を変えてくれました。だから、今度は筋トレの楽しさを広めることで、恩返しをしたいのです。」

ジムでは中学生から六十五歳まで、約三十名が練習に励んでいる。パワーリフティングの日本記録樹立、野球などの競技の基礎体力づくり、健康増進など、その目的は様々だ。

「ほめちぎって指導します。バーベルを上げられなくても、ぎりぎりまで粘っていれば『ナイスファイト』と声をかけます。」

一月には、日本パワーリフティング協会認定の生涯健康指導士の資格を取得した。

「若年層からお年寄りまで、あらゆる年代の人の筋トレをサポートしたいですね。筋肉をバランスよく鍛えることで、お年寄りには寝たきりにならないようにしてあげることができるし、若い子にはスポーツでけがをしない身体をつくってあげることができるのです。」

健康になれば笑顔でいられる。みんなが笑顔で続けられるジムを目指している。

「パワーリフティングも筋トレも、運動としては単純です。でも、少しずつ記録を伸ばしたり身体が変わったりしていくことで、続けることができるし、それが自信になります。続けることで新たな自分が見えてくることもあるから、長く続けてほしいのです。」

今後も、福田さんの力強さと温かさに包まれながら、多くの人が健康と自信を育んでいくことだろう。

（氏　　名　ふくた　やすひろ
生年月日　昭和四十五年十二月十一日
住　　所　岡崎市八帖北町）

羅針盤

授業の中の「方言」

六ツ美西部小校長
小倉　敏幸

理科の「発芽の条件」を追究する授業場面で、児童が発した言葉に強い印象を受けた。児童らしい、生の表現（方言）であると感じた。

T_1これ（袋中の市販の種）、昨年できた種だろうけど、半年経っても芽が出ないでしょう。春になったけど、芽が出ないじゃないの。

C_0インスタント方式じゃないの。はじめ何もしないで袋に入っていて、それに土とか水をやれば芽が出るから。

C_n袋でも暖かいから、半分くらい設備がしてあるけど。

T_2半分、設備というと……。

児童の発した「インスタント方式」や「設備」という方言が、この学級のなかで生まれ、共有される。「方言」として級友にしっくりと受け入れら

たくさん愛されているよ

甲山中学校
杉山　有紀

「先生、私もう、だめかもしれない。」

中学二年生の二学期も終わりにさしかかったころ、A子が連絡なく学校に来なかった。心配して電話をした際にA子が私に言った。

A子は、部活動で副部長を務めている。口数が多い方ではないが、しっかりとした子だ。生活の記録に「副部長になれて嬉しい。学級でも部活でもがんばりたい」と書いていた。

電話をした後、気になって家まで行くと、A子は一人で泣いていた。「ここで泣いていないで学校に行こう」と言うと、A子はだまってうなずいた。

A子は、学校では副部長なのにうまく部活をまとめられない自分が情けないと思っていること、学級でも部活が気になって何もやる気が起きないこと、家では家族と話ができず、愛されていないと感じることなど、次々に悩みを打ち明けた。そんなA子に「大丈夫だよ。人は悩みながら成長していくもの。悩みが晴れるまで、一緒に考えていこう」と話した。するとA子は、少しすっきりした様子で「ありがとうございます」と言って教室に入っていった。

それからも、A子は時々学校に来ないことがあった。その度に家へ行き話をした。学校ではみんなが待っていること、家族のおかげでA子の今があることなどを繰り返し話した。それでもA子の表情が晴れることはなかった。

A子をこんな状態で三年生に進級させたくないと強く思った。もうすぐスキー合宿で立志の式がある。そこには子供たちに内緒の、家族からの手紙を読む場面がある。そこで、今まで愛情をもって育てられてきたことを実感できれば、部活でも学級でも再びがんばる力が湧いてくるのではないかと思った。

私は、A子が部活や家族のことで悩んでいること、家族からのより深い愛情を感じることでA子は前向きになれると信じていることを家族に伝えた。そして、A子が生まれたときの家族の喜びや、十四年間の思い出を手紙に書き、愛されていることを伝えてほしいと協力をお願いした。

立志の式当日、「たくさん愛されているよ。部活でも学級でもがんばっているね」と言ってA子に手紙を手渡した。A子は真剣な眼差しで手紙を読み、そして涙を流した。何度も、何度も読み返していた。そして、泣きながら返信の葉書を書いた。家族への感謝の気持ちや、家族の思いに応えるために自分も努力しようという決意など、葉書では収まりきれないほどの文が書かれていた。

それからA子は変わった。部活にいちばん早く行き、必死に練習に打ち込んだ。その姿に、周りの子もついてくるようになった。学級では、「卒業を祝う会」の実行委員に立候補した。そして、笑顔が増えた。

「先生、ありがとうございました。三年生でもがんばります」と言ったA子の顔は、とても輝いて見えた。

れ、学級の学びを支える言語として使われ出していったのである。

学習指導要領には、言語力のいっそうの育成が求められている。理解と言語とは対をなすものである以上、個人の理解に寄与し、伝える相手にも同様の理解を促す言葉の存在が欠かせない。授業のなかの方言、つまり真に学ぶ者が発した生活感のある言葉が、いかに取り上げられ、共有されるかが学習なのである。だから、授業研究では、つぶやきや個人の言語表現やその交換の様子を学習分析の中心に置いてきているのである。

教室内に豊かに方言が交わされる。その方言が共有されるとき、実感を伴う理解がその学級の文化を形成していくのであろう。方言が、言語力の根幹であるのは間違いない。

言わずもがな、学校教育はこの方言で留まっているものではない。先にふれた「設備」の言語は、理科の標準語で「条件」に昇華させなくてはならない。昇華させた標準語での意見交換、さらには国際的理解ができるよう共通語を介した交換も必須となっている。

教師は、児童の生き生きとした方言を確かに感受し、かつ、それを標準語・共通語に昇華させていく営みを保障しなくてはならない。

1年のあゆみ

▲全日本小学校バンドフェスティバル銀賞
（竜美丘小吹奏楽部）

▲世界ユース選手権大会日本代表にも選出
（東海中学校アーチェリー部）

4・1　**辞令伝達式　新規採用教員一〇一名**
4・17　第18回愛知県ヴォーカルアンサンブルコンテスト　金賞　竜海中学校
4・18　**現職研修委員会総会（甲山中）**
4・24　愛知県中学生シングルアーチェリー大会　女子リカーブ部門　優勝　東海中3・堀口理沙
5・1　第14回中日本中学生アーチェリー大会　男子30・30M部門　優勝　東海中3・野村　翼
女子50・30M部門　優勝　東海中3・堀口理沙
5・12　第7回プリントコミュニケーションひろば
ひろば賞（学級通信）三島小教諭　浅井優子　北中教諭　武井　翔
新人賞（学級通信）六ツ美中部小教諭　青山絢香
5・14　**第55回岡崎市中学校総合体育大会（～15　水泳5・28）**
5・22　全日本学校関係環境緑化コンクール　協力賞（PTA日本一）　常磐東小学校
5・31　**岡崎市教員研修会（四季の会・開講式）（コロネット）**
6・15　春のフラワー・ブラボー・コンクール　東海テレビ賞　六ツ美中部小学校
中部善意銀行賞　上地小学校
6・24　**岡崎市教員研修会（四季の会・春）（市民会館）**
6・25　第6回全日本小学生中学生アーチェリー大会
男子リカーブ部門　優勝　東海中3・野村　翼　二位　東海中3・加藤優一
女子リカーブ部門　二位　東海中3・堀口理沙
7・1　**市制記念日　「おかざき心の歌」三部作、『夢　受け継いで』『夢　ふくらませ』披露**
7・2　第28回NHK杯放送コンテスト　愛知県大会　朗読部門　最優秀賞　北中3・齋藤朋香
7・6　**ニューポートビーチ市使節団来岡（～13）**
7・9　第14回愛知県中学校選抜混成競技会　男子四種競技　優勝　葵中3・久永健太郎
第29回愛知県小学生バドミントン選手権大会
五年女子ダブルス　優勝　六ツ美南部小5・宗政理紗　矢作東小5・福嶋沙彩
7・16　第18回愛知県中学校カヌー大会
男女総合・男子総合・女子総合　優勝　新香山中学校
個人優勝　新香山中3・西村拓也　名倉光晟（男子K-2）　2・綿　幹弘（男子C-1）
3・柴田好美（女子K-1）　3・芝下寧々　宮嶋　愛（女子K-2）
3・柴田好美　芝下寧々　宮嶋　愛　小塚佳純（女子K-4）
7・21　**第64回岡崎市中学校市長杯総合体育大会（～24　陸上8・2）**
7・22　岡崎市小学校球技大会（～25）
JOC全国中学生カヌー大会
男子K-2　二位　新香山中3・西村拓也　名倉光晟
男子C-1　二位　新香山中2・綿　幹弘
男子C-2　二位　新香山中3・田口幹朗　磯谷勇太
女子K-1　優勝　新香山中3・柴田好美
女子K-2　優勝　新香山中3・芝下寧々　宮嶋　愛
女子K-4　優勝　新香山中3・柴田好美　芝下寧々　宮嶋　愛　小塚佳純
7・23　県黄河大恐竜展イラストコンテスト
優秀賞　広幡小5・仁井本昇也　羽根小2・福冨颯士郎
7・28　第65回愛知県中学校総合体育大会（～8・1）
剣道競技男子団体　優勝（全国大会出場）矢作北中学校
バレーボール競技女子　優勝　六ツ美北中学校
水泳競技　一〇〇Mバタフライ　優勝　竜南中3・平岩桃夏
一〇〇M　優勝　矢作中3・黒木省悟
陸上競技　一一〇Mハードル　優勝　甲山中3・鈴木康隆
走高跳　優勝　竜海中3・近藤佑香
7・31　岡崎市小学校水泳大会
JOC第4回全日本ジュニアテコンドー選手権大会
小学校四年女子の部　優勝　大門小4・山本さくら
小学校二年女子の部　二位　大門小2・新田直美
小学校三年男子の部　三位　大門小3・山本和虎

8・1　CBCこども未来キャンペーンこども絵画展2011
県知事賞　六名小6・荒井拓馬
岡崎市教員研修会（四季の会・夏）（りぶら）
第54回中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会
大編成の部　優秀賞（本大会出場）　竜海中学校
8・2　**岡崎市総合学習センター開所式**
第32回少年少女囲碁大会全国大会
中学生の部　二位　南中3・杉田俊太朗
8・3　**平成23年度授業力・教師力アップセミナー（～10）**
第22回伊藤園おーいお茶新句大賞
佳作特別賞　美合小6・浅井克貴
平成23年度岡崎市教員免許更新講習（3・4・5・9・10）
8・4　**芸術鑑賞会　劇団四季　「はだかの王様」（～5・市民会館）**
第41回愛知県野生生物保護実績発表大会　愛知県知事賞　生平小学校
県教育委員会賞　美合小学校　宮崎小学校
8・6　第33回東海中学校総合体育大会（～11）
剣道競技男子団体　三位　矢作北中学校
バレーボール競技女子　三位（全国大会出場）六ツ美北中学校
水泳競技一〇〇Mバタフライ　優勝（全国大会出場）竜南中3・平岩桃夏
一〇〇M背泳ぎ　優勝　矢作北中3・中嶋里実
一〇〇Mバタフライ　二位　矢作中3・新出拓杜
四〇〇Mメドレーリレー　二位（全国大会出場）矢作中3・細井雄介
土屋尚也　今村公亮
二〇〇M背泳ぎ　三位（全国大会出場）矢作中3・細井雄介
陸上競技走幅跳　優勝（全国大会出場）岩津中3・永尾直也
一〇〇M　三位　矢作中3・黒木省悟
三位（全国大会出場）六ツ美北中3・村越優里奈
三位　矢作北中3・林　隆太
8・19　**第25回岡崎市中学生の主張コンクール（市総合学習センター）**
柔道競技八十一kg級
第48回全国中学生海の絵画コンクール　佳作　矢作中2・中根凌央
第38回全日本中学校陸上競技選手権大会　男子走幅跳　五位　岩津中3・永尾直哉
第39回生徒市議会（市役所西庁舎）
福山市子ども議員都市交流
世界ユース選手権大会（ポーランド）キャデット女子個人　一七位　東海中3・堀口理沙
8・21　第51回全国中学校水泳競技大会　女子一〇〇Mバタフライ　七位　竜南中3・平岩桃夏
8・23　**第53回岡崎市小中学生英語スピーチフェスティバル（市総合学習センター）**
8・31　**岡崎市教職員厚生活動「文化の集い」（市民会館）**
9・2　**岡崎市教育研究大会（市内各会場）**
9・16　県学校関係緑化コンクール　特選（県知事賞）　夏山小学校
9・17　**第48回吹奏楽祭（市民会館）**
9・19　第32回ジュニアオリンピック県陸上競技大会
男子A一〇〇M　優勝（全国大会出場）矢作中3・黒木省悟
男子B走幅跳　優勝（全国大会出場）北中2・森　将太
男子B砲丸投　優勝（全国大会出場）六ツ美中2・大浦優汰
男子BC共通走高跳　優勝　六ツ美中2・加藤亮汰
女子A三〇〇M　優勝　矢作中3・中根千明
女子A走高跳　優勝　福岡中3・稲垣　碧
女子B一〇〇M　優勝　矢作北中2・松本扶弥
9・24　第17回日本管楽合奏コンテスト予選審査会
最優秀賞（全国大会出場）　南中学校　竜海中学校
9・25　第35回全国学生書写書道展　大賞　葵中3・加藤安梨沙
9・27　**中学生ウッデバラ市親善訪問（～10・6）**
9・27　**第44回岡崎市中学校新人総合体育大会（～8　水泳9・10）**
10・1　**第50回小学校陸上競技大会（県営岡崎総合運動場）**
社会科研究作品展（～11・りぶら）
高円宮杯全日本中学校英語弁論大会（県）　最優秀賞　竜南中3・高瀬大輔

▲岡崎市
総合学習センター開所

▲おかざきの心の歌　夢三部作
「岡崎の舞　夢おどる」披露
（六ツ美北中　3年生）

▲日本管楽合奏コンテスト全国大会
優秀賞　（南中吹奏楽部）

10・4 **中学生ニューポートビーチ市親善訪問（～13）**
愛知県歯科医師会　歯と口の健康に関する図画・ポスター
最優秀賞　細川小2・栗田海青　大門小6・江口夢実

10・9 **第58回小中学校理科作品展（中央総合公園武道館）**
第38回小中学校技術・家庭科作品展（中央総合公園）
第58回岡崎市民体育祭（中央総合公園武道館）
第54回中部日本吹奏楽コンクール本大会　大編成の部　優勝　竜海中学校

10・14 全国自作視聴覚教材コンクール
「大門のしめ縄～地域の伝統を守り、受けつぐ人々～」　文部科学大臣賞
「法性寺ねぎを守る」　入選
市自作教材制作委員会・視聴覚ライブラリー共同制作

10・16 第61回全国小中学校作文コンクール愛知県審査　最優秀賞　三島小3・簗瀬　元

10・18 第59回全国統計グラフコンクール
第一部　佳作　梅園小2・伊藤碧人
第二部　入選　竜美丘小4・鈴木麻尋
パソコン統計の部　入選　河合中3・辻川拓弥　横山兼也　1・平山諒雄

10・22 愛知県健康推進学校表彰　特選　河合中学校
第48回造形おかざきっ子展（～23・おかざき世界子ども美術博物館広場）
ウッデバラ市使節団来岡（～28）
第55回愛知県学生科学賞　最優秀賞・県知事賞　城北中3・竹内咲貴
最優秀賞・県議会議長賞　甲山中3・青木玲央
最優秀賞・県教育委員会賞　北中1・岡　大樹

10・27 愛知県少年消防クラブ員防火作品展
小学校ポスターの部　消防試験研究センター愛知県支部長賞　根石小5・小澤円香

10・29 第15回東海小学校バンドフェスティバル　金賞（全国大会出場）　竜美丘小学校

10・30 第18回愛知県カヌー大会新人戦
男子総合　女子総合　男女総合　優勝　新香山中学校
個人優勝　新香山中2・綿　幹弘（男子C-1）　2・綿　幹弘　鈴木克尉（男子C-2）
2・高坂晴香（女子K-1）　2・河合舞果　小塚真優（女子K-2）
2・河合舞果　小塚真優　高坂晴香　吉竹紗矢栞（女子K-4）

11・5 第25回愛知県中学生英語弁論大会　優秀賞・愛知県教育委員会賞　葵中2・伊藤　楓
第17回日本管楽合奏コンテスト全国大会　B部門　優秀賞　南中学校　竜海中学校

11・12 **第39回教育文化賞授賞式（市総合学習センター）**
CBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会
小学校管楽合奏部門　最優秀賞（全国大会出場）竜美丘小学校
中学校合奏第一の部　最優秀賞（全国大会出場）城北中学校
重唱部門　最優秀賞（全国大会出場）六ツ美北中学校

11・19 第30回愛知県中学生バレーボール新人大会
男子　優勝　六ツ美中学校　女子　優勝　六ツ美北中学校
県春日丘中学生英語スピーチコンテスト　中日新聞社賞　竜海中3・藤原ゆか
第39回岡崎のハーモニー（市民会館）
第30回全日本小学校バンドフェスティバル　銀賞　竜美丘小学校
第26回　WE　LOVE　トンボ絵画コンクール
小学校高学年の部　環境大臣賞（学校賞）　井田小学校
秋のフラワー・ブラボー・コンクール　中日新聞社賞　六ツ美中部小学校
松坂屋賞　細川小学校

11・20 第7回明日の風文芸賞岡崎（県）　俳句ジュニアの部　大賞　東海中3・富田純平
エッセイジュニアの部　県教育委員会賞　美合小5・鈴木雅也
詩ジュニアの部　県教育委員会賞　美合小4・附柴　航

11・26 **岡崎市教員研修会（四季の会・秋）（市総合学習センター）**
第29回全国小・中学生作文コンクール　国語部門
文部科学大臣奨励賞　梅園小6・水越葉凪
顧問審査員特別賞　矢作東小1・野村奈未

11・29 アジア国際子ども映画祭（全国）　奨励賞　生平小6・杉山拓哉　南　壮馬
中田琴理　間結莉愛

11・30 2001ぎふ・関全国子ども俳句コンクール
俳句の部　奨励賞　矢作北中1・大河内優太
優秀賞　矢作東小2・鶴田悠仁

12・3 第3回花王おそうじ絵日記コンクール
叙勲・表彰者合同祝賀会（竜美丘会館）
第44回全国おかねのコンクール　特選（日本銀行総裁賞）　矢作北中1・和泉　愛
学校賞　矢作北中学校

12・4 県JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部　県知事賞　南中2・西原希美
第11回東邦ガス　読書感想文「こころの木」（東海）
こころの木賞　美合小1・服部真亜
男子の部　優勝　矢作南小学校

12・10 第1回みのかも日本昭和村小学生駅伝大会（県）

12・14 第61回社会を明るくする運動作文コンテスト
全国BBS連盟会長賞・県推進委員会委員長賞　岡崎小6・水野詩子

12・18 **岡崎市教員研修会（四季の会・冬）（市総合学習センター）**
第55回日本学生科学賞
入選三等　城北中3・竹内咲貴　入選三等　北中1・岡　大樹

12・22 愛知県中学生バスケットボール新人大会　男子　優勝　六ツ美北中学校

12・23 第55回全国JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部　銅賞　南中2・西原希美

12・24 新年交礼会「リズム体操　夢おどる」「岡崎の舞　夢おどる」　披露
ジュニアコーラス　ジョリフィーユ　六ツ美北中学校　上地小学校

12・27 第11回武豊ニューイヤー駅伝大会（県）
小学校男子の部　優勝　矢作南小学校
小学校女子の部　優勝　矢作南小学校

12・29 愛知県小学校アンサンブルコンテスト　金管八重奏　金賞（東海大会出場）　竜美丘小学校

1・1 第15回全国図書館を使った調べるコンクール　優良賞　連尺小5・兵藤梨歩夏　兵藤茉莉夏
全国ありがとうの手紙コンテスト二〇一一　審査員奨励賞　矢作東小6・山口結香

1・8 **第63回岡崎市民駅伝競走大会**

1・14 **校舎完工式　豊富小学校**

1・16 **第38回岡崎市作文コンクール表彰式（福祉会館）**
「科学が好きな子どもを育てる」二〇一一ソニー子ども科学教育プログラム　優秀校　葵中学校

1・17 第59回こども音楽コンクール　中学合奏第一部門　文部科学大臣奨励賞　城北中学校

1・18 全国キャリア教育優良校　文部科学大臣賞　城南小学校

1・21 平成23年度はがきでコミュニケーション全国発表大会
中学年の部　日本郵便社賞　愛宕小4・増田遼大
優良校協会会長賞　愛宕小学校

1・22 第12回全国環境美化教育優良校表彰

1・26 第57回青少年読書感想文県コンクール
愛知県知事賞　根石小6・水野菜々子　竜海中2・三浦舞香
愛知県教育委員会賞　六ツ美北中2・石川瑞紀

1・29 毎日新聞社奨励賞　井田小4・大久保　力
日本陸上室内陸上競技大会　男子走幅跳　三位　岩津中・3　永尾　尚哉

1・31 **第47回岡崎市小中学校読書感想文・読書感想画コンクール表彰式（図書館交流プラザ）**

2・3 第28回「道徳と特別活動の教育研究賞」（全国）
教師（個人）の部　優秀賞　井田小教諭　佐野恵広
奨励賞　細川小教諭　筧　陽子

2・4 第10回「全国こども科学映像祭」
小学生部門　優秀作品賞　大樹寺小4・内田悠雅
佳作　竜美丘小科学部　教諭　木河淳治（顧問）

2・7 中学生部門　優秀作品賞　福岡中学校プロジェクトチーム
第60回岡崎市学校保健大会　心と体を育む活動奨励賞　梅園小学校　井田小学校

2・9

2・11

2・15

平成23年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月8日	南中（市委嘱）	教育全般	自律をめざす生徒を支援する魅力ある学校づくり ―「きょうどう」によるチーム・ザ・南中の実現―	岡崎市教育委員会より「魅力ある学校づくり」をテーマに研究委嘱を受け、「きょうどう」をキーワードに、「共同による真の学びの実現」「協同による生徒活動の推進」「協働による学校支援の確立」を研究の視点とし、元気な学校づくりを進めてきた。3段階のグループ学習の活用、「南中溌剌太鼓」や「南中サミット」などの新たな生徒活動の創造を手だてとして、めざす生徒像である「南中を愛し、南中を誇りに思う生徒」の育成をめざし、実践に取り組んだ。	研究物　研究紀要　学習指導案集 教育実践集「手づくり学校の挑戦」 分科会助言者 熊谷　清一先生（竜海中）　片桐　徹先生（六北小） 平　任代先生（額田中）　長坂麻奈美先生（西三事務所） 荻須　文裕先生（葵中）　長谷川勝一先生（竜南中） 小田　英宣先生（竜美丘小）　近藤　善紀先生（新香山中） 荒井　留美先生（福岡中）　太田　幹也先生（矢作北中） 鈴木　誠先生（梅園小）　田島　広嗣先生（六ツ美中）
10月4日	矢作東小（自主）	国語	国語力向上をめざす授業の創造 －書く力をつけることを中心にして－	児童の書く力をつけることを中心的課題と位置づけて、国語力向上をめざした授業のあり方についての継続的な研究を行った。モデル文の提示やペア学習の導入により児童の言語活動が活性化されるとともに文章構成力が伸長すること、「ことばの広場」の時間を設定し、基礎・基本と活用力両面の育成が図られること、そして国語科への取り組みの発表の場を増やすことにより校内外で高く評価される児童の作品が増加することの3点が成果として得られた。	研究物　研究要項　学習指導案　国語科ヒント集 研究会及びパネル討論会助言者 愛知教育大学教職大学院教授　佐藤　洋一　先生 パネル討論会パネリスト 尾崎　和美　先生（奥殿小）
10月12日	竜海中（自主）	全教科・特別支援	自ら学び、表出する生徒の育成 ～教科学習を中心に～	「わかる学習指導」第10次研究の1年次。持続発展教育を踏まえて、生徒自身の主体的な学びをさらに確かなものにし、学ぶことの意義や意味が実感できる授業にしたいと考えた。教師の「わからせたい」から、生徒の「わかりたい」へ、さらに「わからなければならない」へと授業の変革を図り、コミュニケーション活動を重視し「表出する」ことで、「かかわり」や「つながり」を尊重できる人間を育成することを大切にし授業実践に取り組んだ。	研究物　研究要項　学習指導案集 分科会助言者　岡崎市教科指導員 清松　治子先生（広幡小）　片桐　徹先生（六北小） 平　任代先生（額田中）　荻須　文裕先生（葵中） 太田　幹也先生（矢作北中）　細井　鶴貴先生（南中） 長谷川勝一先生（竜南中）　小田　英宣先生（竜美丘小） 近藤　善紀先生（新香山中）　田島　広嗣先生（六ツ美中）
10月19日	連尺小（市委嘱）	国語	確かさ・豊かさ・楽しさを究める連尺の国語科学習 －「読みの力」を支える言語活動の充実－	国語科の中の「読みの力」を育む研究に取り組んだ。「読むこと」について、身につけさせたい力を明確にし、6年間の系統性を見通したカリキュラムを土台にして、適切な言語活動を有機的に結び付けた単元づくりを工夫した。その過程で、「身につけさせたい力一覧」「連尺カリキュラム」「教材分析シート」を作成した。一単位時間や朝の帯時間「連尺タイム」などにおいても、常に言語活動を工夫し、振り返りの場を大切にした授業を展開した。	研究物　研究紀要　学習指導案集　資料集
11月2日	本宿小（市教委）	英語活動	生きる力を育む小学校英語の創造 ～英語が話せる本宿っ子をめざして～	岡崎市教育委員会から「小学校英語の創造」をテーマに研究委嘱を受け、英語に慣れ親しみ、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする子供の姿をめざして研究実践を進めてきた。Okazaki Kids Englishを視聴する「Eタイム」の継続実施、ＡＬＴ・ＳＴとの効果的な役割分担をしたAll Englishの授業、本宿小カリキュラムによる段階的な学習を通して、英語で伝え合おうとする力を育む研究に取り組んだ。	研究物　研究要項　学習指導案集 平成22年度学習指導案集 分科会助言者 文部科学省教育課程調査官　平木　裕　先生 愛知教育大学　教授　高橋　美由紀　先生 英語科指導員　山本　和代　先生（葵中） 英語科指導員　太田　幹也　先生（矢作北中） 特別支援指導員　田島　広嗣　先生（六ツ美中）

●平成23年度の出版物

書名	出版月	著者・編者
手づくり学校の挑戦　南中奮闘記	平成23年6月	岡崎市立南中学校
「困った」から生まれた矢東国語ヒント集	平成23年10月	岡崎市立矢作東小学校
創立50周年記念誌	平成23年11月	岡崎市立城北中学校
開校60周年記念　私たちの学舎　井田	平成24年3月	岡崎市立井田小学校

平成23年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

氏　名	学校名	教科領域	研　究　主　題
大本　満子	根石小	道　徳	温かな人間関係を築こうとする心を育む道徳教育
森田　淳一	竜南中	社　会	持続可能な社会の実現を目指し、学びを問い合い、自己の責任を考える社会科の授業

優秀賞

太田　好乃	梅園小	書　写	生きてはたらく書写力を育てる授業
中根　良輔	梅園小	社　会	自己の役割と責任を考えながら持続可能な社会の実現を目指し、学びを深め合う社会科の授業
平岩　浩二	梅園小	特別活動	人のために働くことに自分の喜びを実感できる子どもの育成
村松香保里	梅園小	総　合	持続可能な社会づくりに主体的に参画できる子の育成
市川　翔子	美合小	国　語	言葉や表現にこだわり、楽しく正しく物語を読み深める子の育成
中根　精司	六名小	理　科	子どもが主体的に追究し、理解を深めていく理科の授業
柴田亜由美	六名小	生　活	子どものつぶやきに耳を傾け、対話を大切にして、思考を深める授業目指して
吉原　樹	竜美丘小	社　会	持続可能な社会の実現を目指し、学びを問い合い、自己の責任を考える社会科の授業
伊豫田美奈子	竜美丘小	音　楽	「曲想やその変化を感じ取り、想像豊かに聴くことのできる子の育成」
杉浦　聡	竜美丘小	体　育	できる喜びを味わい、主体的に運動に取り組むことができる子どもの育成
三好すなお	広幡小	体　育	仲間と学び合い、できる喜びを味わえる跳び箱運動の授業
石川　俊之	福岡小	国　語	「物事を豊かに感じとり，表現を磨いて詩の創作をする子どもの育成」
原田　康司	福岡小	社　会	社会の仕組みについて理解を深め，未来を見据えて考える力をのばす社会科教育の試み
林　俊樹	竜谷小	算　数	思考力と表現力を育む算数科の実践
藤原　公子	山中小	学校保健	歯の健康のためによりよい生活ができる子の育成
内田佳寿美	常磐小	生　活	言語活動を取り入れ，他教科との関連を図りながら展開する生活科の授業
鈴木　里佳	細川小	理　科	自ら追究し、関わり合いながら豊かな心を育成する理科教育
米坂　達也	細川小	図画工作	つくりだす喜びを味わい、心豊かに自分の思いを表現する子の育成
鈴木　一史	大樹寺小	国　語	自分の考えや思いを伝えあい、互いに読み深める国語科の学習
鶴田　秀幸	大門小	学級経営	よりよい学級づくりを目指して
青木　麻紀	矢作東小	国　語	論理的な文章を意欲的に確かに書ける子の育成を目指して
上原　千佳	矢作東小	国　語	説明文から構成や文末表現を学び、言語活動に活かす授業
原林　久代	矢作東小	音　楽	日本の伝統音楽のよさを感じ、自らの思いを音や言語を通して表現できる子の育成
加藤さなえ	矢作西小	生　活	生き物と親しみ、命を大切にする子どもの育成
安藤　仁史	六北小	特別支援教育	自分のよさに気づき、力を発揮しようとする子をめざして
平国　亮子	城南小	生　活	自然に親しみ、いきいきと学ぶ子の育成
富田三津子	城南小	学校保健	生活習慣を見直し、よりよい排便習慣の定着をめざして
柴田多津彦	北野小	生徒指導	命について考え，自己有用感を深める子の育成
鈴木　巨裕	宮崎小	社　会	持続可能な社会の実現を目指し、学びを問い合い、自己の責任を考える社会科の授業
平木　順子	形埜小	特別支援教育	夢中になる活動から、この子の可能性を引き出す支援の追究
稲村　美穂	形埜小	総　合	仲間とともに学び合い、考えを深める子どもの育成
川本　祐二	美川中	社　会	「社会事象を主体的にとらえ、積極的に参画しようとする生徒の育成」
丹下　義輝	南　中	特別活動	生徒会活動でリーダーシップを発揮し、自ら進んで活動する子の育成
難波　晴子	竜海中	数　学	数学を楽しむ心を育て，論理的思考力を伸ばす授業への取り組み
杉田かざみ	竜海中	美　術	自分の想いを、自信をもって形に表現し、伝え合う喜びを感じる生徒を目指して
山田　義仁	城北中	技術・家庭	確かな選択眼から未来の地球を思う心へとつなぐ技術・家庭科の授業
青木　純子	城北中	英　語	生き生きと英語を話すことのできる生徒の育成を目指して
伊藤　真平	河合中	保健体育	集団的技能を向上させ、意欲的に取り組むことのできる体育の授業を目指して
柴田　明美	常磐中	国　語	適切な情報を相手・目的意識をもって編集し，積極的に発信することができる子どもの育成
早川　哲也	岩津中	社　会	持続可能な社会の実現を目指し、学びを問い合い、自己の責任を考える社会科の授業
池田　芳浩	岩津中	理　科	主体的な追究から事象をとらえ、自然に対する考えを深める生徒の育成
安井　文一	六ツ美中	社　会	持続可能な社会の実現を目指し、学びを問い合い、自己の責任を考える社会科の授業
小山　岳彦	六ツ美中	数　学	活用力を高め、生き生きと学び続ける生徒の育成
髙橋　幸太	六北中	数　学	共に学び合い、互いの成長を喜び合える生徒の育成
倉橋　重夫	六北中	理　科	科学的な見方や考え方を養う理科の学習指導
森　雄一郎	六北中	特別支援教育	職業生活へ向けた実践的な態度を育成する作業学習
大島由貴子	額田中	保健体育	仲間とともに学び合い、「できる」喜びを共感し合える体育学習

〈論文入賞者数〉

賞		最優秀	優　秀	佳　作	合計/応募数
幼稚園	個人	1	31	58	90/271
小学校	共同	1	2	3	6/ 13
中学校	個人	1	16	38	55/161
	共同	0	2	1	3/ 6
合　計		3	51	100	154/451

佳作

佐々木幸美	男川小	社　会	
市川　初実	男川小	音　楽	
榊原万由美	男川小	学校保健	
小森　典子	男川小	総　合	
加藤　環	男川小	教育全般	
成瀬　美穂	美合小	国　語	
斎藤優亜子	緑丘小	生徒指導	
中山美奈子	羽根小	音　楽	
廣間三枝子	羽根小	特別支援教育	
神谷　尚希	六名小	算　数	
二村　帆波	三島小	生　活	
田中　寿和	三島小	特別支援教育	
太田菜々美	三島小	学校保健	
稲垣　啓子	連尺小	国　語	
寄田　彩日	広幡小	国　語	
長坂　有美	広幡小	国　語	
石黒　智康	井田小	国　語	
平岩　大督	井田小	図画工作	
白川　真理	井田小	体　育	
板倉　眞介	井田小	体　育	
山本　磨生	藤川小	生　活	
佐瀬ひろ美	藤川小	学校保健	
高沢　秀昭	藤川小	総　合	
堀田　史	山中小	国　語	
髙木　理人	本宿小	図画工作	
石川　恒彦	本宿小	外国語活動	
稲吉　晃一	本宿小	外国語活動	
小川　恭平	生平小	総　合	
徳原　雅治	常磐東小	社　会	
天野　充	細川小	社　会	
吉見　友里	岩津小	書　写	
新　育大	岩津小	理　科	
松金　正樹	大樹寺小	算　数	
加藤　咲子	大樹寺小	総　合	
鈴木　大介	大樹寺小	総　合	
波江野寛之	大門小	社　会	
安田　美奈	大門小	生　活	
小黒　雅美	大門小	家　庭	
林　ひとみ	矢作東小	国　語	
檀浦　克子	矢作東小	国　語	
伊藤　禎浩	矢作東小	体　育	
佐橋　康仁	矢作北小	算　数	
丹下知佐子	矢作西小	図書館	
杉田　祥吾	矢作南小	社　会	
岩堀　友美	矢作南小	音　楽	
原田　真弓	矢作南小	道　徳	
青山　絢香	六中小	生　活	
鈴木　智記	六中小	体　育	
加藤　幸広	六南小	理　科	
渡邊　康恵	城南小	理　科	
阿路川昌宏	城南小	生徒指導	
小木曾正章	上地小	国　語	
犬塚　貴子	上地小	特別支援教育	
柴田　泰枝	小豆坂小	道　徳	
伊達　恭子	小豆坂小	特別活動	
太田田佳子	北野小	総　合	
水野さおり	六西小	学校保健	
松本　友子	宮崎小	図書館	
加藤　良彦	甲山中	数　学	
加藤　健太	甲山中	英　語	
加藤　明	甲山中	特別支援教育	
鈴木　真登	美川中	理　科	
野々山和也	南　中	国　語	
日置　正敏	南　中	社　会	
鈴木　貴章	南　中	理　科	
新家　春菜	南　中	音　楽	
森本　英文	南　中	英　語	
髙橋　遼	竜海中	国　語	
千賀しのぶ	竜海中	社　会	
兼松みなわ	竜海中	保健体育	
塚谷　保	葵　中	数　学	
渡辺修一郎	葵　中	理　科	
杉山　綾美	葵　中	英　語	
青木　佑吏	葵　中	特別支援教育	
中村　まり	城北中	数　学	
成瀬　真浩	城北中	理　科	
青木　貴之	城北中	美　術	
林　久仁典	福岡中	国　語	
伊奈久美子	東海中	技術・家庭	
坂元優美子	東海中	英　語	
伴　巨裕	河合中	社　会	
太田　周作	岩津中	保健体育	
杉木　惇美	岩津中	技術・家庭	
山盛　誠治	岩津中	特別活動	
三浦　裕昌	岩津中	特別支援教育	
佐藤あかね	矢作中	数　学	
篠原　有加	矢作中	英　語	
近藤久美子	六ツ美中	国　語	
伊藤みゆき	六ツ美中	英　語	
藤澤　美穂	矢作北中	技術・家庭	
千種はるか	竜南中	国　語	
杉浦小百合	竜南中	英　語	
永田　祐己	北　中	技術・家庭	
柴田　愛美	六北中	保健体育	
田中こころ	六北中	英　語	
新井　健祐	六北中	総　合	

●共同研究の部

最優秀賞

現職研修部 清水　隆史	本宿小	外国語活動	「生きる力を育む小学校英語の創造」

優秀賞

５年生部会 柵木　弓	梅園小	総　合	夢の実現に向けて、環境問題を自分ごととして捉え、追究し続ける子どもの育成
現職教育部代表者 石原　真吾	連尺小	国　語	確かさ・豊かさ・楽しさを究める連尺の国語科学習
現職研修部 木河　泰	南　中	教育全般	自律をめざす生徒を支援する魅力ある学校づくり
現職教育部 山内　貴弘	新香山中	総　合	環境を見つめ、考え、働きかける生徒の育成

佳作

現職研修部 佐渡　英彰	常磐小	教育全般
保健部会 平岩　文子	六北小	学校保健
現職部会 杉田喜美子	梅園幼	教育全般
現職研修理科部 代表　荻須　文裕	葵　中	理　科

お知らせ

●教育最新情報

○岡崎市中学校学習指導計画

授業改善委員会が、平成二十四年度から使用する「岡崎市中学校学習指導計画」を作成した。

平成二十四年度より、中学校では、新学習指導要領が全面実施され、教科書も新しくなる。これに合わせて再編された。

教科ごとに全九冊作成し、特活・道徳の計画については、すべての教科の冊子に掲載した。中学校の担任が、自身が指導する教科と、学級担任として指導する道徳・特別活動の指導計画の拠り所として、常に読み返して参考にするためである。

いつ、何を、どのように指導していけばよいのか、参考となるよう編集されている。また、以下のような特色が盛り込まれている。

①各教科・領域のはじめに、新学習指導要領の改訂のポイントをまとめた。

②各単元（題材）のはじめに評価規準を示した。

③岡崎の教育三本柱「環境教育」「おかざきの心の醸成」「英語教育（『Our City OKAZAKI』との関連）」の内容を含めた。

新学習指導要領の改訂のポイントが示され、新しい教科書での学習の根本的な考えが分かるようになっている。

また、これまで別冊の評価規準例集のなかで示されていた評価規準が、この指導計画に並記されたことで、計画段階で評価を意識することができ、教師が確かな評価を進めることにつながる。当然、指導と評価の一体化も図ることができる。

さらに、岡崎の教育三本柱の活動が入ったことで、計画的に実践が進められ、岡崎の進めるＥＳＤの充実につながるものとなる。

本書の計画をもとにして日々の授業が確かに進められるようにしたい。

○『ＥＳＤへのアプローチ～持続発展可能な社会をめざす岡崎の教育に向けて～』

岡崎市のＥＳＤの推進に役立てていきたいと考え、授業改善委員会が『ＥＳＤへのアプローチ～持続発展可能な社会をめざす岡崎の教育に向けて～』をまとめた。

今回の学習指導要領の改訂ではＥＳＤが取り入れられている。岡崎市ではいち早くＥＳＤをスタートした。ＥＳＤの柱となる岡崎の教育三本柱の実践が各学校で進められ、今年度は、これまでのカリキュラムや教育内容をＥＳＤの視点でとらえ直していくことを通して、ＥＳＤを推進している。

こうした市内小中学校の取組を実践情報としてまとめたものが本冊子である。

本冊子は以下のような構成となっている。

1　岡崎の教育とＥＳＤ
2　岡崎市内の特色ある取組
・男川小
・竜美丘小
・常磐南小
・六ツ美中部小
・常磐中
・竜南中
3　各校のワンポイント実践
・市内小中学校六十六校
4　全国の先進校の取組
・広島大学附属中・高
・奈良教育大学附属中

特色ある取組を行っている市内六校の実践、さらに市内全小中学校のワンポイント実践、全国の先進校の取組を参考にして、各学校のＥＳＤ推進の参考としていきたい。

今年度末には各学校に配付予定である。

●表　彰

◆第59回全国こども音楽コンクール
中学合奏第一部門
文部科学大臣奨励賞（最優秀）
城北中学校

◆第15回全国図書館を使った調べるコンクール
優良賞
連尺小五年　兵藤梨歩夏
兵藤茉梨夏

◆第24回全国おかねの作文コンクール
特選（日本銀行総裁賞）
矢作北中一年　和泉　愛
学校賞　矢作北中学校

◆平成23年度はがきでコミュニケーション全国発表大会
中学年の部
日本郵便社長賞
愛宕小四年　増山遼大

◆全国ありがとうの手紙コンテスト二〇一一
審査員奨励賞
矢作東小六年　山口結香

◆第12回全国環境美化教育優良校表彰
優良校協会会長賞　愛宕小学校

◆「科学が好きな子どもを育てる」二〇一一全国ソニー

子ども科学教育プログラム
優秀校　葵中学校

◆全国学生書写書道展
大賞　葵中三年　加藤安梨沙

◆第57回青少年読書感想文全国コンクール
入選
井田小四年　大久保　力
根石小六年　水野菜々子
六ツ美北中二年　石川　瑞紀
竜海中二年　三浦　舞香

◆第10回「全国こども科学映像祭」
小学生部門
優秀作品賞
大樹寺小四年　内田　悠雅
佳作　竜美丘小科学部
教諭　木河　淳治
中学生部門
優秀作品賞
福岡中学校プロジェクトチーム

◆第28回「道徳と特別活動の教育研究賞」（全国）
教師（個人）の部
優秀賞
井田小教諭　佐野　恵広

◆第11回東邦ガス　読書感想文「こころの木」（東海）
こころの木賞
美合小一年　服部　真亜

◆平成23年度県水質パトロール隊事業
佳作　愛宕小四年生

◆県読書感想画コンクール
優秀賞
大門小二年　仲井　誠剛
根石小六年　大原　夕奈
※全国審査へ
優良賞
北野小二年　川崎雄一郎
北野小三年　加藤　来都
岡崎小三年　野本　隼佑
城南小四年　兼田　理瑚
北野小五年　安芸　香穂
根石小六年　山本　麻加
奥殿小六年　勝上　夢可
常磐中三年　大地　佳那
常磐中一年　近藤　愛里
六ツ美北中三年
坂本　彩美
※城南小兼田、常磐中大地は全国審査へ

◆第1回みのかも日本昭和村小学生駅伝大会（県）
男子の部
二位　矢作南小学校

◆第11回武豊ニューイヤー駅伝大会（県）
小学校男子の部
優勝　矢作南小学校
小学校女子の部
二位　矢作南小学校

◆第16回ごんぎつね駅伝（県）
小学校男子の部
二位　矢作南小学校

◆愛知県アンサンブルコンテスト
金管八重奏
金賞　竜美丘小学校
※東海大会出場
打楽器七重奏
金賞　竜美丘小学校
サキソフォン四重奏
金賞　竜美丘小学校

◆第47回　岡崎市小中学校読書感想文・読書感想画コンクール
読書感想文の部
市長賞
大門小三年　下川　聖史
根石小六年　水野菜々子
竜海中二年　三浦　舞香
市議会議長賞
六ツ美西部小一年
杉本　尋
井田小四年　大久保　力
六ツ美北中二年　石川　瑞紀
読書感想画の部
岡崎南ライオンズクラブ会長賞
北野小二年　川崎雄一郎
根石小六年　山本　麻加
常磐中一年　近藤　愛里

●少年自然の家だより

○キャンプファイア

野外宿泊活動になくてはならない一つにキャンプファイアがある。参加した子供たちが星空の下、天まで届けとばかりに、炎に包まれた井桁を囲んで歌い踊り、ゲームに興じる。大きな炎を囲んで学級・学年が一つになって集う場は、子供たちに安らぎと神秘的な自然に親しむことのすばらしさを教えてくれる。子供たちにとって、自分自身を見つめ直す絶好の機会となり、先生方にとっては、学級や学校生活の指導の成果を計るバロメーターになる。

キャンプファイアの演出や進め方により、成果にかなり違いが見られるように感じる。成果を挙げるためには、子供たちに事前に十分指導し、準備を重ね、引率者との連携を図ることが必要である。

ところで、少年自然の家は、多目的広場、太陽の広場、自由の広場の三か所でキャンプファイアを行うことが可能である。そのうち太陽の広場は屋根付であり雨天時でも八十人ぐらいで行うことができる。

雨天時や二回目にぴったりなのは、キャンドルサービスである。体育館で、子供一人一人やグループごとにろうそくを燭台に立て、ほのかな明かりを囲み厳粛な雰囲気のなかで行うことができる。ろうそくの炎によって子供たちが、落ち着き、集中して考える時間になったり、心を新たにする時間になったりする。

初日は大きな火を囲んだキャンプファイア、最終日は素朴なろうそくを囲んだキャンドルサービス。その両方を実施することを計画してみるのもよい。

フォトヒストリー 岡崎の教育

全校歯磨き集会
(昭和五十三年)

写真提供：細川小学校

昭和五十三年六月四日の虫歯予防デーに歯磨き集会を行った。全校児童（当時八百二十三名）が運動場に出て、朝礼台の指導者に合わせて、歯を磨いている写真である。

現在本校は集会を行っていないが、三年生と六年生は校医による歯磨き指導を受けている。歯こうの中にいる細菌を顕微鏡で拡大して見せたり、歯こうを赤色に染め出すことで歯磨きの仕方の指導を行ったりしている。また、給食後の午後一時から、音楽に合わせて全校児童が歯を磨いている。

歯の健康は、心と体の健康を支える。生涯に渡る生活習慣の基礎を養うため、歯科指導は重視され、各学校で工夫されている。

・カット　矢作北中　山田泉美

オアシス

重たそうならバーベルの重量を減らす。自信をなくすようなことはしない。ジム生が長く続けられる秘訣はここにあるのだろう。

自分自身はといえば、負けたくなくて、つい無理をしてしまうのだと福田さんは笑う。懐深く、己に厳しい師の姿が、ジム生に語るものは大きい。

春風渡る三月。この一年間のあゆみを振り返ると、どれもこれもまばゆいものばかりである。こうしたそれぞれの成果の裏には、数え切れないくらいたくさんの苦労と失敗もあったことであろう。そうした一つ一つの困難を乗り越えて咲かせた花。その美しさを、ともに喜びたい。

「あと、○日かぁ。」

教室のカレンダーで卒業や修了までの日数を数え、子供がつぶやく。

ともに一つの目標に向かっていた日、すれ違う心に悩んだ日、他愛のないことで一緒に笑い合った日。仲間たちとの日々があってこその学校生活。残りの一日一日を大切にしたい。

「素敵な女性になってほしい」と、今年もお雛さまを飾り、ひし餅を供える。ひし餅に見られる白・青・桃の三色はそれぞれ、雪の大地（白）・木々の芽吹き（青）・命（桃）を表し、これを食すことで大自然の力を授かろうという願いがある。この春こそは、子供たちに自然の優しい恵みがあることを願う。

この本を

＊限界集落株式会社　星野　伸一
小学館　¥1,680

＊下山の思想　五木　寛之
幻冬舎新書　¥777

＊いま，先生は　朝日新聞教育チーム
岩波書店　¥1,785

＊采配　落合　博満
ダイヤモンド社　¥1,575

＊希望　命のメッセージ　鎌田　實
東京書籍　¥1,470

東日本大震災直後から被災地での医療支援活動を行った筆者は，「被災した子供たちにとって教育が生きる希望そのものだ」と言う。「強くてあたたかくてやさしい国をとりもどそう」という思いに溢れる珠玉の一冊である。写真エッセイの記述部分は，教室で子供たちと一緒に読み，生きることを考えさせることもできる。ちなみに，本書の印税は，すべて被災地の子供たちのために使われるそうである。

城南小　金指由香里